

誠實自然

令和3年7月15日

前号で校長先生の好きな漢字一文字を「優」ですと伝えました。すると、優しい人が強い人ってどういう意味ですか？と中国語の先生からさっそく質問がきました。友達や、家族、時には知らない人など、他人に親切に優しくできる人は、自分のことよりも他人を大切にできる人で、そこには、相手の人のことを思う強さがないと優しい態度や行動は生まれません。争うことよりも相手の人のことを敬う気持ちでかかわることができる人が強い人だと思います。やさしいと言うと弱そうなイメージですが、自分のことよりも他人のことを考えられる人は、自分にも他人にも強い気持ちの人です。と話しました。

台湾では、人に親切にしたり、相手のことを大切に思うことを「溫柔」(ウェン ロウ)と言うことばを使うそうです。他人に温かく、ソフトに接する姿が想像できます。まさに、台湾の人は、親切であり、相手の人に温かい気持ちで接することができる優しさにあふれています。

台湾と日本との表現の違いはありますが、相手の人を大切に思う「やさしい」気持ちはいっしょだと感じました。

TJSで学ぶ子どもたちは、両方の「やさしさ」を持った人です。

新校舎の完成にあわせて正門も新しくなりました。白塗の門になりますが、以前の門にもありました校名の「台北市日僑学校」の看板が壁に取り付けられました。以前の場所にあった物と同じですが、きれいに再生していただいた看板です。歴史と伝統を受け継ぎ、TJSの新たな歴史の積み重ねを新たな入口で見守ってくれます。



HPにも「校長室だより」をアップしています。「学校紹介」→「校長室だより」になります。(少し遅れますが)